



山形県立新庄北高等学校最上校ふれあい通信

最上校だより

教育スローガン “どの生徒も伸ばす、伸びる生徒はさらに伸ばす”

平成28年(2016年)度

第3号

9月30日 No. 154

TEL 0233-43-2349

www.shinjokita-h-b.ed.jp

大船渡市へ交流ボランティアに行きました

夏季休業中の8月4日、今年で6回目となる岩手県大船渡市(旧三陸町)へ交流ボランティアに向かいました。今回は1年生5名、2年生6名、引率教諭2名で向かいました。窓ふきのボランティアをし、現地の方々との交流会では昼食を囲みながら、震災当時の話や災害に対する備えが大切なのだという話を伺い、当時小学生だった生徒達の胸にも響いたのではないのでしょうか。震災から5年、少しずつ復興が進み、震災への思いが薄れてきていると感じるところもありますが、このボランティア活動が続いていくことが、震災への思いを風化させないことだと感じています。10月の文化祭には、大船渡の皆さんが来校して講演をして下さいます。



町内でのボランティアも頑張っています



町内の福祉施設の夏祭りに、最上校の地域活動部の生徒がボランティアに伺いお手伝いをさせて頂きました。本格的な町内での交流ボランティアは今年度初めてで、特に1年生は初め、高齢者との交流に戸惑う姿も見られましたが、時間が経つにつれ慣れてきた様子でした。これから回数を重ね、奉仕の心が育ってくれることを期待しています。

「中学生体験入学」が実施されました

7月28日、最上地区内外から24名の中学生が、体験入学に参加しました。

当日は気温が上がり暑い中でしたが、学校説明を聞き、校舎内・部活動見学、そして「情報」「福祉」の授業を体験しました。当日は本校生も、学校説明や校舎案内等の補助員として活躍してくれました。



～進路決定の秋です～

7月の求人票の開示から、就職希望者は、夏休みに向け企業訪問を行い、進学希望者はオープンキャンパス等に参加し、いよいよ進路決定の時期になってきました。

就職は、9月16日に就職試験が始まり、数名の3年生が受験に向かいました。これまで、昼休みや放課後などの時間を利用して、面接練習や作文添削、試験対策をしてきました。

進学は、推薦試験が10月から随時始まっていきます。

3年生クラス全体の雰囲気にも緊迫感があり、全員で進路達成するという目標に向けて、同じ方向を見えています。1人1人が、自分の希望する進路に向かって歩み出すときです。悔いが残らないよう、精一杯努力して欲しいと思います。

そして、1・2年生は、1・2年後の自分の姿を、3年生を目標に見据えて、今自分が出来ることは何かをしっかりと考えて欲しいと感じます。



PTA 評議員の方々に協力して
頂き、面接練習をしました
ご協力ありがとうございました

キャンパス制交流 (芸術鑑賞・本校文化祭参加)



キャンパス制交流の一環として、9月1日の芸術鑑賞(全校参加)、9月3日の新庄北高本校の文化祭(生徒会参加)を通して、本校生徒との交流を図りました。

芸術鑑賞の前には、全員で校歌を歌い一体感を感じ、それぞれの代表者が和太鼓の演奏にも参加しました。

本校の文化祭には、最上校を紹介するブースが設けられ、最上校の特色をDVDにて紹介しました。また、カードゲームを用いながら、生徒同士の交流も図れ、沢山の方々に最上校をアピールできたようです。

芋煮会・マラソン大会



3連覇の男子Sさんと、同じく3連覇の女子Hさん

3年入賞者 おめでとう!

前日からの雨が心配される中、9月23日に第50回校内マラソン大会が実施されました。男子8キロ女子5キロの距離を走り、ほぼ全員が完走することができました。体育の授業で長距離の練習を積み挑みました。長距離ということで苦手な生徒もいましたが、苦手な事への挑戦、そして最後まで諦めることなくチャレンジすることの大切さや、成し遂げることの重要さに気付けたのではないかと思います。3年生の両名は3連覇を達成しました。素晴らしい記録です。

午後からは恒例の芋煮会が行われ、各学年、班ごとに、薪に火をつける作業から行き、各班趣向を凝らした芋煮やバーベキューを楽しんでいました。味の良し悪しよりも、準備から片付けまで協力して行うことに、学校で行う芋煮会の醍醐味、意義があります。

学年の垣根を越えて様々な学年と交流する姿は、最上校ならではの姿ではないでしょうか。笑顔が絶えない素晴らしい1日となりました。

